



## 2学期のスタートにあたって

新学期がスタートしました。40日余りの夏休みは充実したものであったでしょうか。

8月22日の登校日の全校集会で「皆さんは何時頃に起きていますか？」と質問したところ、児童の多くが**7時には起床している**ということでした。校長が心配していた（だらだらとした）生活をしている児童が少なかったのはとても素晴らしいことです。

これまでに大きな病気や事故の報告もなく、本日の始業式で元気な顔を見ることができ、夏休みが無事に終了したことに安心しています。はやく学校のリズムに戻し、楽しい毎日を過ごしましょうね。

さて、8月27日には、9月の2学期開始に合わせて「愛校作業」（ふれあい奉仕作業）が実施されました。PTA会長、生活環境部長の音頭のもと、保護者、教職員、4年生以上の児童が集合し、早朝から2時間程度の作業を協力しながらできたことは、たいへん素晴らしいことだと感じました。（ふれあい奉仕作業）というネーミングにもあるとおり、作業で汗を流しながら、たくさんのお話ができたことも嬉しかったです。

主な作業内容を紹介します。

### □ 1～4年生の保護者

教室や特別教室等の扇風機の掃除、蛍光灯のほこり落とし、窓拭きなどをしていただきました。

教室がとても明るくなりました。（扇風機の取り付けまでしていただきありがたかったです。）

### □ 5・6年生の保護者と4年生以上の児童

運動場周辺の草払い、雑草抜き、草集め、学級園の整備などをしていただきました。

夏はいくらやっても草木がすぐ伸びるので、大がかりな作業をしすっきりしました。

（見たことがないような機材もご持参いただきました。）



本年度を「**脱コロナ禍元年**」と位置づけ、「**地域の中にあり、信頼されるみんなの（八代小）学校**」を学校経営方針の基本としています。

その主旨を踏まえ、**2学期以降に実施される大運動会等の行事には、家族（親戚）や来賓の制限をできるだけでなくし、多くの皆様に八代小学校を見守っていただきたいと考えております。**

現在はバスの待合のお世話をさせていただくために、入田様や緒方様に学校に来ていただいておりますが、**事務室前で受付さえしていただければ、どなたでも学校や児童の様子を見ていただけます。**児童への激励、あらゆる面で地域の方々の協力をいただければありがたいです。

## 2学期は「学校行事」がたくさん

小学校では、各教科等の学習を進める傍ら多くの「学校行事」があります。

それぞれの学校行事には「学校行事を通して**どのような経験をさせたいのか、どのような力を身に付けたいのか**」というねらいがあり、そのねらいを達成できたかということの評価します。

例えば、10月に行われる大運動会には、計画、準備から実施までの約1ヶ月余りのスパンの中で、

- ① 健康増進・体力の向上・運動技能の向上
- ② 学校教育活動の総合的な発表の場
- ③ 集団の一員としての自覚の高揚
- ④ 全校児童全員で行事を作り上げる意識の高揚
- ⑤ 活動を通しての自主性・自発性の高揚
- ⑥ 地域と学校との連携と相互理解

のねらいが達成できるように、日々の反省を踏まえ作り上げていきます。

2学期の主な「学校行事」は次のとおりです。

期 日	学校行事名
10月15日(日)	秋季大運動会
10月27日(水)	秋の社会見学(1～4年)
11月7日(火) ～8日(水)	宿泊体験学習(5年)
11月16日(木) ～17日(金)	修学旅行(6年)
11月21日(火)	鑑賞教室
12月5日(火)	持久走記録会

学年行事も盛りだくさんですよ。みんなで頑張りましょうね！



それぞれの学年の児童にどのようなことを頑張ってもらいたいのかについては、担任の先生方から具体的な説明がありますので、ご家庭では子どもとの対話の中で、**個人の目標等を明確に**し、頑張り方を激励してください。

## 表現する力を大切にしたい！

30年先の世の中を想像することは難しいことです。私は約30年前に教職に就きましたが、その頃と今では「学校の環境」や「教員の立ち位置」を振り返っても全く異なっています。50代以上の教員誰もが、タブレットや生成AIを予測できなかったのは当然のことです。

「不易と流行」という言葉があります。これからも変わらないであろう「不易」の1つに、「**自分の思いや考えをアウトプットすることの大切さ**」が挙げられます。昨年度、国富町教育委員会に勤務しているときに、町内の小中学校の全児童生徒に、年3回新聞を無償で配付し、自分の思ったことや考えたことを整理したり、友だちや先生に伝えたりすることをねらいとして「国富町宮日新聞の日」を計画しました。今年もその事業は継続されています。

本年度から本校は、NIE（Newspaper in education＝教育に新聞を）の実践指定校を受け、9月からは、毎朝4紙の新聞が届きます。児童が新聞を手にするように、学校図書館に配備し、授業中、朝や昼休み、待ち合いの時間に新聞に触れる機会を大切にしていきます。

12月には、県内の先生方を対象に、新聞を使った授業公開を計画する予定ですので、追って案内いたします。